



愛と復興

議会だより

只見

■主な内容

平成25年度予算が可決！ ..... 2

平成25年度予算の概要 ..... 4

予算特別委員会の審議内容 ..... 6

常任委員会の活動報告 ..... 8

災害対策特別委員会活動報告(最終報告) ..... 10

3月第2回会議開催 ..... 11

町議会から国へ意見書を提出 ..... 12

一般質問8人の議員が登壇 ..... 13

聴かせてくんつえ 議員の突撃インタビュー ..... 22

町民からの陳情・請願 あの陳情の行方と結果 ..... 23

発行：福島県南会津郡只見町議会

編集：只見町議会広報特別委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222

E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp



にゅうしょおめでとう

元気いっぱいの子どもたちが明和保育所に入所しました。  
平成25年4月5日 明和保育所入所式

# 予算が可決!

## 総額62億6,600万円

### I

#### 住民と行政が 協働するまちづくり

総事業費 3億7,271万円



- 八木沢・叶津集会施設建設事業 ..... 8,482万円
- 役場本庁舎建築設計支援事業 ..... 2,500万円
- 雪んこタクシー補助事業 ..... 1,918万円

### II

#### 自然に感謝する まちづくり

総事業費 4億7,093万円



- ユネスコエコパーク推進事業 ..... 2,435万円
- 小水力発電事業(調査等) ..... 1,100万円
- 只見統合簡易水道整備事業 ..... 1億3,203万円

只見町議会3月会議は、3月12日から22日まで開催されました。  
平成25年度一般会計予算など13会計の当初予算は、予算特別委員会を設置し、集中審議を行いました。その結果、議案は一部の意見を付しますが、全て原案どおり可決されました。

一般会計では、歳入予算として、只見川豪雨災害復興交付金が見込まれています。また予算特別委員会のなかでは、宅地造成事業に関連して、町の将来の住宅政策の在り方の見直しや、歳出予算の具体的検討が欠けている点などについて審査しました。  
そのほか、条例の改正・制定、平成24年度一般会計補正予算などを審議しました。



# 平成25年度 過去最大規模

## IV

### 新たな産業と 循環型社会を 構築するまちづくり

総事業費 10億7,394万円

- 林道施設過年災害復旧事業  
..... 7億7,901万円
- 6次化産業起業家応援事業  
..... 900万円
- エゴマの里プロジェクト事業  
..... 360万円
- 「木の駅構想事業」  
..... 154万円

クロス  
アップ

## III

### 保健・医療・福祉が 一体となった 元気なまちづくり

総事業費 5億2,797万円

- 地域密着型介護施設整備事業  
..... 3億4,700万円
- 放射性物質対策事業  
..... 1,861万円
- 防災行政無線・地域防災計画  
更新事業 ..... 3,531万円

クロス  
アップ

## V

### 教育、文化を 大切にするまちづくり

総事業費 1億5,156万円

- 小・中学校学力向上事業 ..... 678万円
- 只見高校振興対策事業  
..... 3,800万円
- 民具収蔵展示施設整備事業  
..... 500万円
- 地域包括型スポーツパーク  
構想策定事業 ..... 300万円

クロス  
アップ

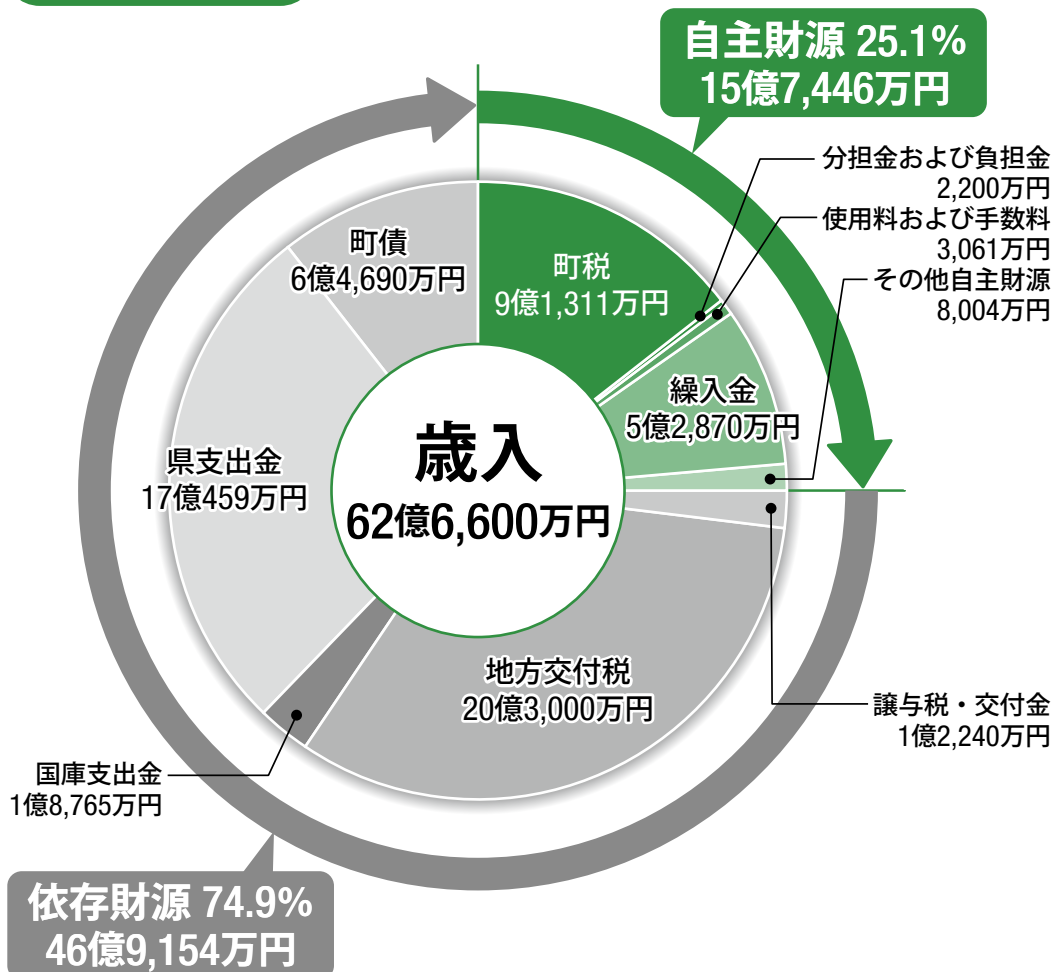
### 主な5つの事業

# 25年度 予算の概要

前年度比4億2100万円増  
増額分の多くは豪雨災害復旧費

## 町の歳入・歳出予算 (1万円以下は四捨五入)

### 町の収入

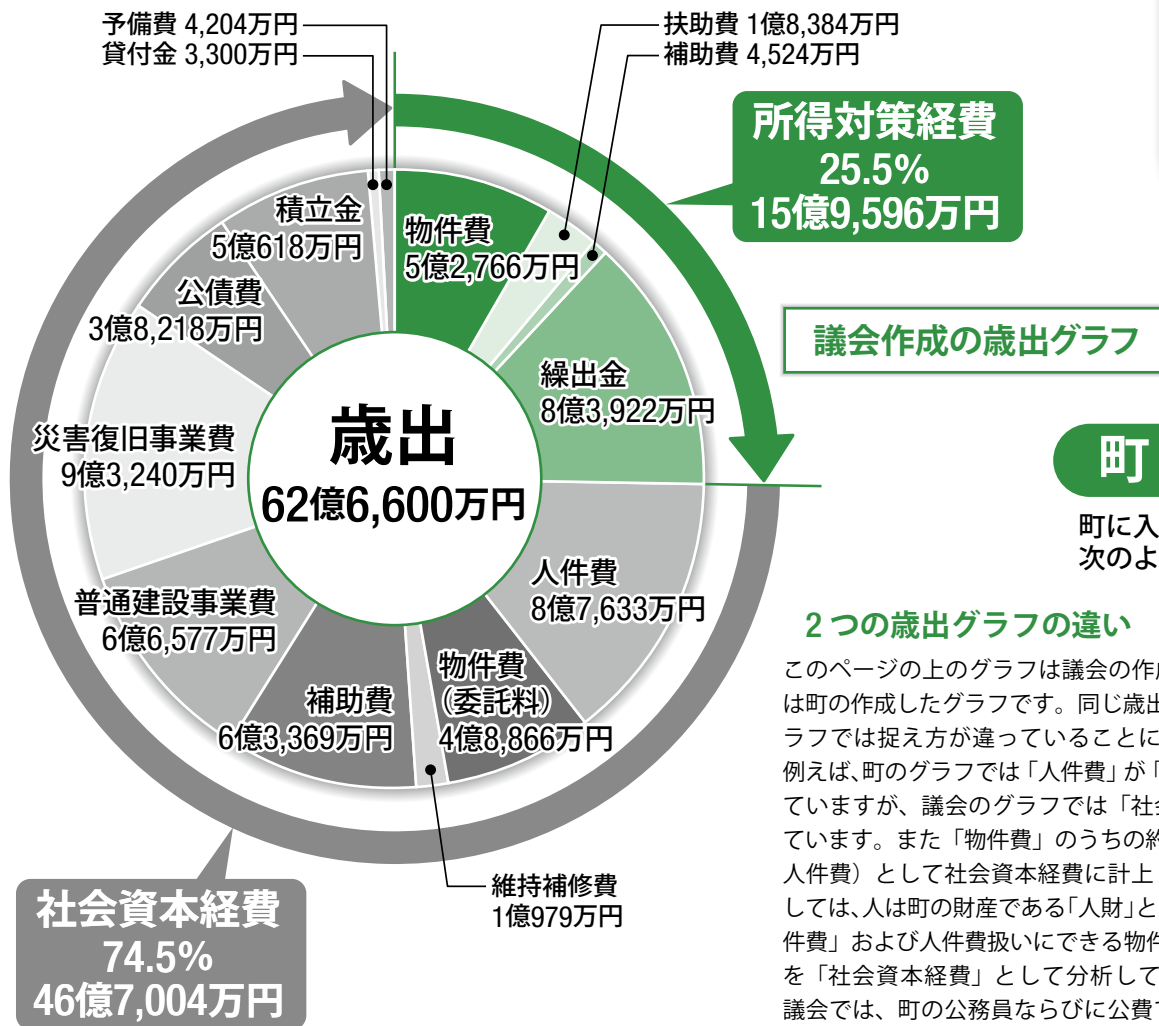


町の歳入にかかる自主財源のほとんどが、義務的経費として使われており、投資的経費および社会資本経費の財源は、地方交付税や国庫支出金などの依存財源となっています。

今後、依存財源が減っていくと、それだけ町の未来投資にかけられるお金が減ることから、自主財源を増やす努力が必要であり、かつ投資的経費および社会資本経費が、どれだけ町の経済にプラスとなっているか分析・検証が必要となります。

### 用語の意味

- ①自主財源：町自らの手で確保できる収入
- ②依存財源：国・県から交付もしくは割り当てられる収入
- ③義務的経費：歳出予算のうち、任意に削減できない極めて硬直性が強い経費
- ④投資的経費：道路、橋りょう、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備等に要する経費
- ⑤所得対策経費：所得を再分配するための経費
- ⑥社会資本経費：道路、河川、学校などの社会生活基盤と社会経済産業基盤を形成するための経費

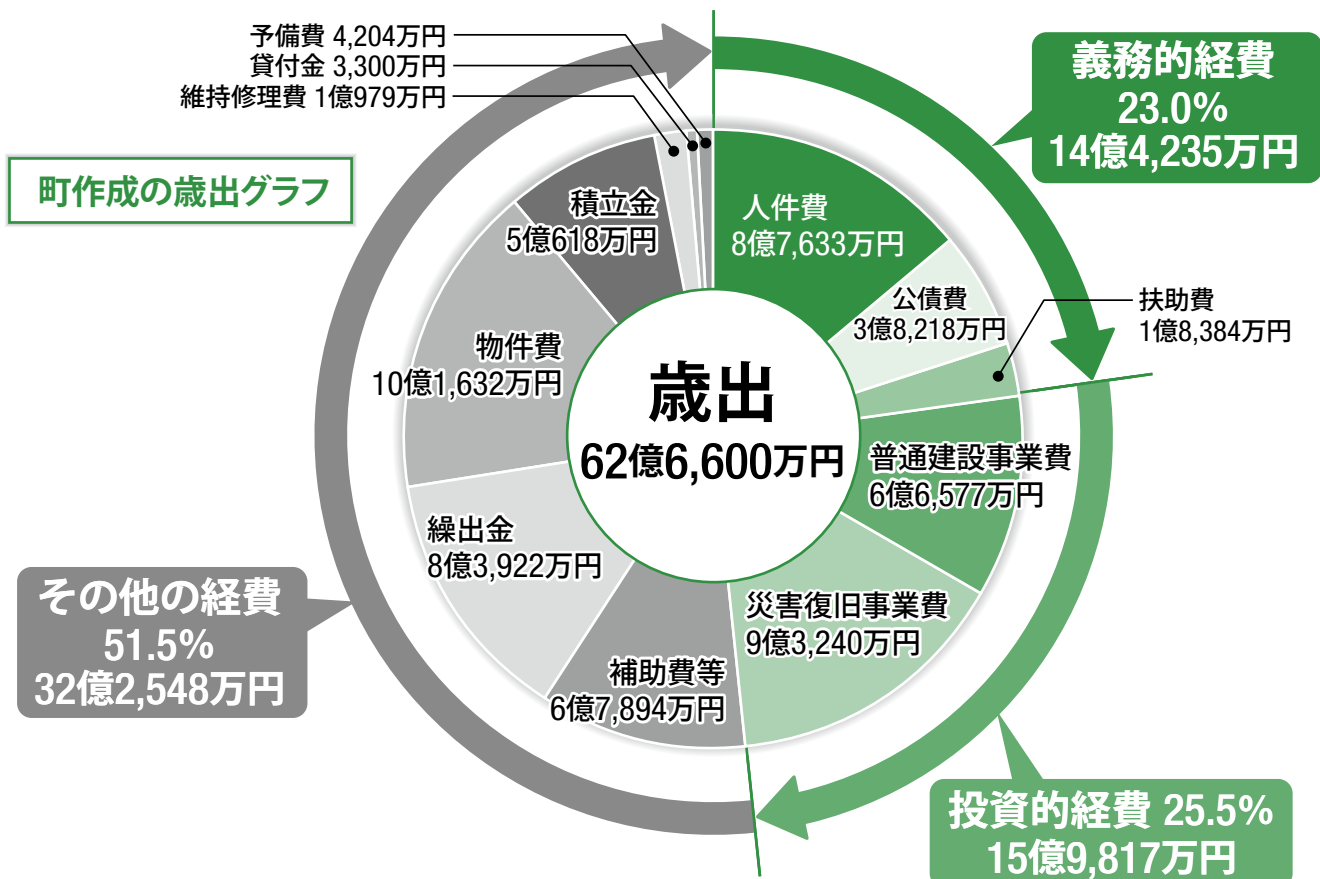


## 町の支出

町に入る歳入予算は、次のように使われます。

### 2つの歳出グラフの違い

このページの上のグラフは議会の作成したグラフで、下は町の作成したグラフです。同じ歳出額ですが、2つのグラフでは捉え方が違っていることに注目してください。例えば、町のグラフでは「人件費」が「義務的経費」となっていますが、議会のグラフでは「社会資本経費」となっています。また「物件費」のうちの約48%を委託料(=人件費)として社会資本経費に計上しています。議会としては、人は町の財産である「人財」という意識のもと、「人件費」および人件費扱いにできる物件費の内の「委託料」を「社会資本経費」として分析しています。すなわち、議会では、町の公務員ならびに公費で働く人すべてを投資的人財という捉え方をしています。





# 予算特別委員会の審議内容

## 委員会から議会への報告

次の3項目の意見を付して原案のとおり採択すべきものとして報告しました。

## 意見書

- 1** 議会で採択した陳情・請願については十分尊重の上、予算の編成、執行にあたられたい。
- 2** 宅地造成事業に関連して、町の将来の住宅政策全般のあり方を再検討されたい。

- 3** 予算編成について……歳入見積もりについて、年間予算主義に基づき見込まれる予算については、過小評価のないよう努められたい。歳出については、具体的検討に欠けている予算が見受けられることから是正されたい。

予算特別委員会では、只見町の一般会計予算62億6600万円および特別会計27億4510万円について付託を受け、4日間慎重審議しました。主な審議内容と町当局の回答を掲載いたします。

### 質疑

ホームページ作成委託料500万円は、過大な見積もりでは？ 現実的な見積もりをしていただき、他に必要な予算に振り分けるべき。

### 回答

町のポータルサイトをつくる中で、多機能のものを取り入れ、かつセキュリティを高める上で必要な予算である。

### 質疑

「道の駅」構想について、具体的な計画やスケジュールを示して、担当委員会と協議しながら進めていただきたい。

### 回答

なるべく情報提供をさせていただきますながら、ご意見を頂き進めていきたい。

### 質疑

リース料が、前年度と比較しかなり増えている。買取などは考えないのか？

### 回答

メンテナンスや管理も含め、効果的な方法として実施している。

### 質疑

出会の場づくり事業委託料150万円は、毎年継続しているが課題等把握されているのか？

### 回答

課題は把握しているが、解消はされていない。見直しながら実施していきたい。

質疑

大型固定資産税の収入も年々減少する中で、自主財源対策が必要では？

回答

大規模償却資産は、年間約2000〜3000万円減額となる。今後全国水力ダム立地町村などとの連携で大きな課題として国に対し申し上げていきたい。

質疑

雪ん子タクシーの運行を再検討できないか？

回答

運行料金引下げはなかなか困難、土日運行も含めて、再検討の意見交換を行う。

質疑

明和自治振興会の発足について、従来の運営委員会との関係は？

回答

地域の思いが形になった経過、事業も運営委員会を継承し新たな課題に取り組む。3地区同一スタートであつかうものではない。

質疑

地域防災計画の更新内容は？

回答

災害発生時の初動マニュアル、組織体制、優先度等を再検討する。原子力災害も想定に加わる。

質疑

子育て広場事業について

回答

「教育の原点は家庭にあり」という意識醸成のため家庭教育の支援事業に取り組み。低学年対象で本年度より3地区に拡充する。

質疑

民具の收藏計画について

回答

考古館と一体で検討する。どのような一体が可能か、展示施設の構想を本年度委託したい。

質疑

災害指定最終年次の今年、特に林道について、指定年限内で残りの工事完了は可能か。

回答

施工方法、積算見直しなど県とも十分協議しながら進めていく。

質疑

行政の予算は単年度主義が原則であるものの、中長期的な視野で未来志向のまちづくりをしていくに当り、町の資産がどれだけあり、どれだけの予算が未来への投資に使われていて、使われたお金が実際にどれだけ町の活性化や発展に貢献しているのかの分析が必要だ。そのためにはバランスシート（貸借対照表）の作成や、行った事業のその後における分析が必要不可欠と思うが？

回答

分析は必要だと認識しているが、まだそれができる状態にはない。また、必ずしも分析できるような事業ばかりでもなく、難しい面もある。

質疑

国道289号開通促進のPR看板の設置を早急にできないか？

回答

国道管理者との協議があるがお盆前目標で設置する。

回答

職員給与について、今回の国家公務員の7・8%減額に準じて減額するの

質疑

か。総務大臣よりお願いの文書がきている。7月改定目標に進めたい。

予算特別委員会とは

議会本会議では、質問制限がかかるため、質問制限のない委員会で充実した審議を行うため設置しています。ここでは、当委員会での審議状況についてお知らせいたします。

# 常任委員会の活動報告

## 総務厚生

### 町提案

下請共同作業所の貸付・処分について

### 委員会回答

無償譲渡すべきでない

現在只見駅前にあるスミタフトオトニクスが入る施設は、昭和61年に町の産業構造の改善を図るために国からの補助金を受けて建設されているものです。その使用については、法律で厳しく制限され、現在貸付の使



只見駅近くにあるスミタフトオトニクス

用期限が平成24年度で終わることから、町当局より現在の会社に「無償譲渡」により建物を処分する旨の提案があり、3度の委員会で審議した結果、駅前という町の主要地にあることなどから、無償譲渡でなく将来の有効利用も考え、国に一部補助金を返還しても町の施設として所有しておくべきとの結論に至りました。

本内容は、経済文教常任委員会でも審議され、同様の結論を得ています。

### 町提案

JR只見線の早期全線復旧について

### 委員会回答

今後、JRの調査結果を踏まえる

これまで、会津坂下町を事務局とする只見線活性化協議会、沿線町村町議会でJR本社、国の所管省庁などへ只見〜会津川口間の早期開通に向けた要望活動を行い、田子倉ダム開

発との歴史的背景、奥会津の公共交通としての役割、震災後の会津観光復興の目玉としてその重要性等を訴えてきました。福島県でも財政支援

の方向を打ち出し、今後は現在JRにより行われている被害調査が完了次第、関係機関とともに新たな対策を講ずることとなるため、継続審査と決定しました。

### 町提案

只見総合開発センター等の今後の在り方について

### 委員会回答

すぐ取り壊しせず再利用を検討すべき

町当局から老朽化した3つの公共施設について、取り壊し処分の提案がありました。只見総合開発センターについては、地域住民から場所の利便性などについて再利用の要望があることから、耐震補強による継続利用が可能かどうかを費用対効果



再利用を検討するよう求めた旧明和小学校体育館



取り壊し処分が決まった旧東北電力小林サービスセンター

と合わせて再調査し、6月を目途に結論を出すことで決定しました。

旧明和小学校体育館についても、新たな産業振興対策での再利用が可能かどうか、再検討することとし、取り壊し処分をいったん中止とする決定をしました。

旧東北電力小林サービスセンターについては、施設の老朽度合いから今年度取り壊し処分する提案を受け、了承決定しました。



# 常任委員会の活動報告

## 経済文教

### 町提案

再生可能エネルギー調査について

### 委員会回答

早急に公共施設等への導入を検討すべき

ユネスコエコパーク登録を目指す町として、クリーンエネルギー使用は必要不可欠であることから当委員会は

### 町提案

只見町企業誘致および立地促進条例の調査について

### 委員会回答

内容について、再検討を要する ↓ 継続審議

只見町の地域経済活性化を目的とした企業誘致策の一環として「只見町企業誘致および立地促進条例」の提案を町当局より受けましたが、当初案では企業側が面積500㎡以

では、先進地である「富山県黒部市」、「山梨県都留市」を視察し、小水力発電でおこした電気を市役所や植物栽培施設の電力として使用し余った電気を売電している実態を参考に、当町でも早急に公共施設等への導入検討が必要ではないかと申し上げ、町も今年度予算で小水力発電事業を進める調査予算が計上され一歩前進したところです。

上の建築物を建築する旨の条件が入っており、製造業を主に意識した条件となっていました。現代においては産業構造や企業形態も多種多様となっており、必ずしも誘致可能な企業が大規模な社屋や工場を必要とする業態ばかりとは限らないため、企業誘致をよりスムーズにするためにはこの面積要件は妨げとなる可能性が否定できないため、委員会としてはこの面積要件を緩和しないし削除するなどして、より時代に即した内容となるよう提言しました。

### 町提案

只見高校振興対策について

### 委員会回答

今後も、地域の重要課題を理解の上、鋭意検討願いたい

一、県立只見高校の永続的な存続と地域の将来を担う生徒の育成を目

的とした「只見高校振興支援第2次対策」について、確認・調査を行いました。

二、町当局から、奥会津の中核的基幹高校を目指した、只見高校の「ブランド化」と「差別化」のための4つの柱を提案

- (1) イメージアップのための取り組み
- (2) 学力向上と進路指導の充実
- (3) 山村留学制度の魅力度アップ
- (4) 地域の教育振興に貢献し永続的に安定存続できる学校

当委員会では、これらの実現のための取り組み状況を確認・調査しました。

町民、地域の理解と協力もあり有意義な形で進んでおり、今後もきめ細かな支援の継続を期待している。また、今期第12期生15名となる山村留学生について、県内出身者9名、千葉県や東京都などの県外出身者6名となり、安定的な確保対策に重点を置いた取り組み状況等を確認・調査しました。



新たに15名の山村留学生を迎えた只見高校  
第12期 山村留学生対面式

# 最終報告

## 災害対策特別委員会活動報告



被害の大きかった叶津地区

これまでに災害対策特別委員会では、豪雨災害の検証と復旧について、ダム放水との因果関係などについて調査・審議してきました。また、放射能被害についても町民の健康や産業振興について、調査・審議してきました。今回、最終報告として、これまでの活動をまとめましたので、次のとおり報告します。

### 豪雨災害の検証と復旧について

**電源開発株式会社は、河川法の目的に対し誠実であるべき**

電源開発株式会社は、企業として「ダム操作規定」を盾にとり、自らの立場を正当化してはならない。河川は国民の資産であり財産である。企業経営のために国の権限の一部を代行していることを十分に念頭に置き、河川法の目的に

対し誠実であるべきである。企業としてそれが理解できないならば、地域と企業の共存は到底できない。

**防災計画が適切に執行されなかったのではないか？**

当委員会では、集中豪雨とダム放水の因果関係と只見町地域防災計画が機能したかどうかの2つの視点を基に、これまで調査・検証した結果として、今回の災害においては「只見町地域防災計画」の執行が適切に行われなかったことを物語っているものであり、この洪水災害の発端が記録的な豪雨であっても、二つの視点で検証された事実を認めるとき、この洪水被害が

「自然災害である」と言い切ることは到底できないと結論づける。

**山岳地帯のインフラ復旧には、国の特別措置等が必要である**

農山村にとって、治山・治水

### 放射能の影響について

**内部被ばく調査を継続して実施すべき**

町で内部被ばく調査を来年度実施する予定であり、その推移を見守りたい。この調査は26年度以降も継続して実施すべきである。

**農地等の土壌調査については、継続して実施すること**

**出荷制限のあり方など規制の見直しを求めること**

風評被害を含めて、町民に与

える被害は大きいことから魚類や野生キノコの出荷制限・採取禁止について国や県に対し、現実に乗った規制の見直しを求めるべきである。

※詳細については、只見町議会ホームページで確認できます。



保健福祉課に設置された放射能検査機器

# 3月第2回会議開催

## 議案1件と同意案件1件について審議

3月27日に3月第2回会議を開催し、町当局から提出された議案および同意案件について審議した結果は次のとおりです。

### 議案

町長等の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例

#### 可決

平成25年4月1日から同年6月30日までの給料月額を30%減額する条例提案があり、原案通り可決されました。

#### 提案理由

今年1月、「安全なダム放流を求める只見町民会議」による公開質問で、「豪雨の際に電源開発(株)から奥只見ダムの放流を知らせる連絡を受けていたか?」との質問を受け、当初町当局側は、「連絡を受けた覚えはなく、記録もない」としていましたが、2月になって「宿直記録で電話連絡を確認した」と訂正しました。宿直日誌には、電話連絡があった旨とその時間が記載されており、総務企画課長印が押されていました。また、宿直者は町長にもその旨の連絡をしていたことがわかりました。よって、この事実を認め、そ

の対応の不利について、自ら減給を課すことよって謝罪したい旨。なお、総務企画課長は「文書訓告処分」、副町長は「厳重注意」としました。

#### 質疑内容

**質問** なぜ、現時点でこのような議案を提出するのか?

**回答** あくまでも、「安全なダム放流を求める只見町民会議」が出された質問に対して、不手際をお詫びする意味で出した町長自身の気持ちである。被災住民への対応は、今後また別に(今現在調査を依頼中の第三者機関による調査結果等を踏まえたうえで)協議を進めていく考えである。

### 同意案件

副町長の選任について同意を求めることについて

#### 否決

議長を除く議員全員による無記名投票の結果、賛成5票・反対6票となり、反対多数に

より否決されました。

### 無記名投票となった経緯

出席議員より無記名投票にしてほしい旨の提案があり、他の議員から異議が出なかったことから、総意により無記名投票とすることになりました。

### 同意案件とは

議会当日に直接町長から同意を求められる案件であり、人事に関しては町長が任命権を持つものであることから、議会としてはあくまでも提案された人事に対して賛成または反対の票を投じるのみとなります。

他の議決事項のように質疑や議論を経て議決に至る事項とは内容が異なるため、同意案件を決定する際は、一切の質疑や議論を経ず、結果的に否決された案件について、「なぜ否決になったのか?」という理由は会議場で明らかにされるものではありません。あくまでも個々の議員の考えによるものの結果でしかありません。

また、否決されたからといって、逆に人事を提案する権利も議会にはありません。



# 町議会から国へ意見書

3月22日に内閣総理大臣に提出しました

平成23年7月新潟・福島豪雨災害による被害を受けたJR只見線の早期全線復旧を求める

只見線の甚大な被害を受け、只見町および会津地方のライフラインの確保、観光・産業振興のため、JR只見線の全線復旧に向けて、早期全線復旧できるよう、国として最大限の支援をすることを要望。



只見線早期全線復旧を願い、只見町観光まちづくり協会を中心として「只見線・手をふり隊」応援キャンペーンを実施中

地方財源の確保を求める

今般、閣議決定された「地方財政計画上の人件費削減を通じて地方交付税の削減」は、地方に国の考え方を強制する内容であり、地方交付税の理念や、地方分権の考え方に大きく反することとなり、看過することはできない。

また、福島県においては、自治体職員が、震災・原子力災害等からの着実な復旧・復興に向けて献身的に公務を遂行する中で、財源が確保されないことにより業務の妨げとなることが危惧されることと併せて、自治体職員の給与が、地元企業に働く労働者や各種団体職員の給与の指標とされることから、その引き下げによる影響は大きく、地域経済の疲弊に直結することとなるため、地方の一般財源総額を前年度の地方財政計画の水準を下回らない交付額とすること、自治体の自主性を尊重すること等を要望する。

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める

最低賃金の引き上げは、県内の労働力の確保や若年層を中心とした労働人口の県外流出防止のために非常に重要なことである。福島県の一層の発展を図るため、福島県最低賃金に関する次の事項について強く要望する。

1. 福島県最低賃金については、平成22年6月に行われた「雇用戦略対話」の合意に沿った引き上げを図る。
2. 福島県の復興促進、労働人口の流失に歯止めをかけるため上積みの改正を図る。
3. 中小・地場企業に対する支援策等を強化し、最低賃金の引き上げを行う環境を整備する。
4. 一般労働者の賃金引き上げが4月であることから、福島県最低賃金の改定諮問を早期に行い発効日を早める。

## 平成24年度地域別最低賃金

都道府県	最低賃金時間額(円)
宮城	685
福島	664
東京	850
島根・高知	652
全国加重平均値	749

最低賃金制度とは、最低賃金法に基づき国が賃金の最低額を定め、使用者は、その最低賃金額以上の賃金を労働者に支払わなければならないとする制度です。地域別最低賃金は、産業や職種にかかわらず、都道府県内の事業場で働くすべての労働者とその使用者に対して適用される最低賃金として、各都道府県に1つずつ、全部で47件の最低賃金が定められています。

## 一般質問

# 8人の議員が登壇

# この町を想い、町政を問う

- 1 おおつかじゅんいちろう  
**大塚純一郎** ..... 14
  - 町民生活安定のための豪雪対策本部の役割は
  - 只見総合開発センター解体について、町民の合意は
- 2 おぬまのぶたか  
**小沼信孝** ..... 15
  - 有害鳥獣対策の今後について
- 3 めぐろじんや  
**目黒仁也** ..... 16
  - 固定資産税は標準税率に戻すべき
  - 診療所看護師定員の安定化策を
  - 豪雨災害を受け、ダムの緊急点検の必要性はないか
- 4 ふじたちから  
**藤田力** ..... 17
  - 再生可能エネルギー“小水力・バイオ”の開発について問う
  - 水道の未整備地区の解消について
- 5 にっくにひでいち  
**新国秀一** ..... 18
  - 具体的な豪雨災害被災者再建支援策と只見地区の排水路改修計画について
- 6 やまぎしふみこ  
**山岸フミ子** ..... 19
  - 高齢者にやさしい交通・買い物システムをつくる考えはあるか
- 7 なかのたかのり  
**中野大徳** ..... 20
  - 豪雨災害被災農地への支援策は
- 8 さかいゆういち  
**酒井右一** ..... 21
  - 豪雪対策本部の設置時期は適切だったか

- 質問した議員順に掲載しております。
- 1議員1ページの割り当てとなっているため、ページの都合上、質問・答弁はその概要を掲載しております。
- また、質問を割愛する場合がありますが、議会ホームページにて議事録を公開しておりますので、詳細はそちらでご確認ください。

# 大塚純一郎議員

## 町民生活安定のための豪雪対策本部の役割は

### ——道路の安全、高齢世帯の訪問活動等に万全を期す 町長

**大塚議員** 只見町豪雪対策本部設置

により、町民の生活安定のために町はどのような対策に取り組んでいるのか？

**町長** 平成25年2月1日午前10時、

只見町豪雪対策本部を設置した。取り組んでいる対策・対応は、第一には気象情報の収集および伝達である。

第二には町道除雪に万全を期した道路交通の安全確保である。

第三には、地区センターによる各集落の巡回を行っている。集落内の状況や危険箇所を把握し、危険排除や周知などを行うことで事故防止に努めることと併せて、独居高齢者などの要援護世帯等への訪問活動を同時にを行い、実態把握や必要な対応を実施、関係各機関との情報共有を目的として行っている。

**大塚議員** 只見町で取り組んでいる

様々な除雪支援制度の実態は？

**町長** 除雪支援などの克雪対策については、只見町での将来に渡る大きな課題である。冬季でも安心して暮らせる地域づくり、雪に負けない暮らしづくりとして振興計画に位置付け、その対策に取り組んでいる。

## 只見総合開発センター解体撤去について、町民の合意は

### ——町民の意見を十分に反映する

**大塚議員** 只見総合開発センターの解体撤去等について、町民合意がなされているのか？

平成24年度にアスベスト除去工事を6000万円前後の費用をかけて行い、その後の改築案、解体案について納得のできる説明がされないまま、平成25年度事業計画の説明の中で、只見総合開発センターの解体撤去到5800万円

暮らせる地域づくり、雪に負けない暮らしづくりとして振興計画に位置付け、その対策に取り組んでいる。

の工事費用がかかる説明がされたが、現段階で町民合意がなされているとは思われない。役場本庁舎と只見地区センターの合築・併築といった話や計画が一人歩きしているようにしか思えない。当局は町民・議会に対し、十分な説明・理解が必要だと思うが、町長の考えは？

**町長** 只見総合開発センターの



大塚純一郎議員

アスベスト除去工事は解体のいかんに関わらず必要な工事である。各地区センターにおいて役場庁舎建設にかかわる住民説明会を開催し、建設基本計画に基づく基本方針および進め方について説明した。庁舎と地区センターの合築・併築については、議会全員協議会等でも説明している。住民説明会で一部活用等の面で不安の意見があった。

**大塚議員** 議会公共施設再配置特別委員会の最終報告で開発センターは改築すべし、と議会の総意で決定しているものについて、どう考えるのか？

**町長** 議会の意思を尊重し、町民の意見を十分に聞いて反映していきたい。



# 小沼 信孝 議員

## 有害鳥獣駆除対策の今後について

——有害鳥獣駆除隊員の意見と要望を聞き、

実施隊設置の検討、協議を行いたい

町長

**小沼議員** 町内の狩猟鳥獣の大半が

放射性物質の影響により出荷、消費自粛制限の対象となり、免許取得者から「更新する価値がない!」、そんな声が聴かれます。狩猟免許取得者の高齢化、減少が進むなか、有害駆除に対してどのように考えておられるのか。

**町長** 駆除隊の皆さまには大変ご



小沼信孝議員

負担をおかけしている状況にあり出荷、消費自粛制限を受け、狩猟離れによる駆除隊員28名の活動への影響を危惧しております。高齢化、並びに新たに狩猟を始める人がいないのが現状であり、有害鳥獣駆除隊編成補助金等活動支援、捕獲実績に応じた補助金支援を関係機関と連携して担

手の確保と育成に取り組んでいく。  
**小沼議員** 町内の狩猟免許取得者の年齢等くわしくわかれば教えて頂きたい。  
**産業振興課長** 駆除隊員を年齢別でいうと、70代が8名、60代10名、50代6名、40代2名、30代2名の方による駆除隊構成となっている。

**小沼議員** 高齢者が多いようだが、新規の方を増やす取り組みは？ 農

作物被害が増えている現状において、少ない駆除隊の方々に非常にお骨折り頂いているが、しっかりと支援しているのか。

**産業振興課長** 有害鳥獣駆除隊編成補助金。有害鳥獣捕獲実績に応じた支援をしている。  
**町長** 県では平成25年度から新規狩猟免許取得者を対象に費用の一部助成制度を立ち上げる予定である。また平成24年度からは鳥獣被害防止

特措法に基づく鳥獣被害対策実施隊に対する重点支援が開始され、実施隊になることにより狩猟税の軽減、公務災害の適用、許可更新時の技能講習免除等、狩猟免許更新時の経済



平成25年度の有害鳥獣駆除隊編成式

的な負担の軽減には有効だと考えられる。

**小沼議員** 年々農作物の被害が増えている現状と駆除隊員の方々がボランティア的に活動されていることに対して、活動支援の仕方等の見直しの考えは？

**町長** 県も町も免許取得者の減少の中、地域の農村の持つ被害対応をどうできるかを、猟友隊の方々と相談して有効な手段を考えていくのが大事と考えている。

## 目黒仁也 議員

### 固定資産税は標準税率に戻すべき

—— 財政状況を踏まえ引き続き

1.6の税率でお願いしたい **町長**

**目黒議員** 固定資産税の超過課税は、恒常化している。1.6をかける最大の理由は何か？ また、標準税率に戻す考えはあるか？

当面は現行の税率でお願いしたい。診療所の運営費等に充てるなど、なるべく多くの町民に還元できるように形で予算編成している。

**町長** 目下の財政状況を踏まえ、

### 診療所看護師定員の安定化策を

—— 年齢制限上限を引き上げる

ところから進める

**目黒議員** 人員確保が進まないのは、採用身分等の問題以外に人員が不足で、仕事をきちんとこなせるかの不安があることに我々は気づく必要がある。町内公募には限度があり、今後派遣組織などへの依頼も検討すべきだ。

**副町長** 人事構成の平準化の観点から課題がないわけではない。現行よりもさらに年齢制限上限を引き上げる等、できるところから着手したい。  
**町長** 募集方法をもう少し改め、臨機応変に対応するリクルートのあり方を検討する。

### 豪雨災害を受けダムの緊急点検の必要はないか

—— 国、法令、自社、メーカーによる定期検査を行っている

**目黒議員** 流域のダム群は50年を経過したものがほとんどである。住民の暮らしの安心のため、流域連携した緊急点検を事業者・県・国に求めていくべきでないか？

に、社内検査やメーカーによる細密点検もある。田子倉ダムは、平成22年に最強と考えられる地震動、耐震性能照査が実施され、安全が確認されている。もし、緊急点検の必要が生じたら流域町村と連携して国に求めていく。

**町長** 国による概ね3年毎の検査を平成24年度に受けたが、田子倉、只見、滝ダムは、異常ない。また、法令に基づく異常監視が行われ、結果は毎年国へ報告されている。さら



目黒仁也議員



豪雨災害時における只見ダムからの放水状況

## 藤田 力 議員

# 再生可能エネルギー「小水力・バイオ」の開発について問う

——町内森林資源の有効活用と併せて、自然首都・只見のイメージアップ戦略を検討する **町長**

**藤田議員** 一昨年3月の原発事故以来、小水力やバイオマスといった再生可能エネルギーが大きな注目を集めている。今回、町の実施計画に小水力の推進と「木の駅」構想が計画された。小水力の開発として具体的な取り組みを伺いたい。



藤田 力議員

**町長** 小水力発電については、町民の方々からの提案もいただいている。25年度は候補地の最終決定と採用する発電用水車の型式を決定し、実施設計までしたいと考えている。

**藤田議員** 木質バイオマスの利用・「木の駅」構想についても伺いたい。

**町長** 「木の駅」構想は、町内の間伐材を搬出し「木の駅」を拠点として集積・加工・調整・出荷を行いチップや薪として公共施設や一般家庭での利用など町

内に眠っている森林資源の有効利用を進め、自然首都・只見のイメージ

# 水道の未整備地区の解消について

——地域の皆さんと共に、地域課題として取り組む

**藤田議員** 水道の未整備地区の解消について、現在、布沢・坂田・塩ノ岐・黒谷入に未整備地区がある。町

アップ、仕組みづくりを検討するものである。

でも、16か所の簡易給水施設を援助され380人の人が利用されていると聞く。しかし、まだ、自前や隣近所で山からの流水を使っている家庭がある。年々、高齢化が進行する中で重要な問題だと捉えている。町補助の簡易給水施設のさらなる普及について伺いたい。

**町長** 簡易水道の未整備地区については、今まで簡易水道への加入や町補助制度を利用した給水施設の整備に取り組んで来た。こうした対策については、地域の方々の意向を踏まえるとともに、地域の皆さんの合意形成も重要であり、地域共通の課題として考えていただけるよう町としても取り組んでいきたいと考えている。



期待される小水力発電。写真は、経済文教常任委員会の委員6名が視察に訪れた山梨県都留市の小水力発電施設



## 新國秀一 議員

# 具体的な豪雨災害被災者再建支援策と 只見地区の排水路改修計画について

——生活再建支援事業を最優先とする。

県で、計画的に河川整備が進められる **町長**

**新國議員** 福島県只見川流域豪雨災害交付金の活用、豪雨災害により被災した住宅被害者への再建支援は最優先である。具体的な豪雨災害被災者支援と只見地区の排水路改修は？

**町長** 昨年12月の福島県議会において当該基金条例が可決し、9億円が本町に交付され、本年度中に4億

新國秀一議員

円、そして平成25年度中に5億円の配分予定である。この交付金の対象事業については大きく二つある。一つ目は、流域自治体等が行う産業復興支援事業などの豪雨災害からの復興事業である。二つ目は、被災者が町内において生活を再建するために家屋の新築・改築・修繕等に一定の投資を行う、もしくは行った場合の被災住民への支援を行う生活再建支援事業である。交付金の使途としては生活再建支援事業を最優先とし、地域振興・産業振興事業、防災拠点の整備等の3分野へ活用したいと考えている。

新町、新屋敷地内を流れる排水路については、排水路の改修によることなく、河川構造の改良により浸水

被害の防止が図られるものと捉えており、県では只見川圏域河川整備計画を平成25年度内に策定するよう検討が進められている。今後、同計画に基づき計画的に河川整備が行われ

ることとなり、治水対策の向上が図られるものと考えているが、なお一層、その趣旨に沿った形で進捗するように我々も努力をしていきたい。

**新國議員** 町民が今一番危惧しているのは、国の復興予算のように、役人によるこじつけでも復興とは関係ない使われ方を防ぐことである。あくまで被災者、被災地域の救済に使用していただきたい。復興に使用していただきたい。

**町長** 言われるとおり、基金の目的に沿って、この基金を皆さんと相談して活用していく。



対策が求められる、豪雨災害時に甚大な被害を受けた新町・新屋敷地区

## 山岸フミ子 議員

高齢者にやさしい交通・買い物支援システムをつくる考えはあるか

——より良い交通システムへの改善を図るとともに、

将来的な課題として捉え検討したい **町長**

**山岸議員** 地域交通事業として、

「只見雪んこタクシー」が月曜から金曜まで運行されている。土・日の運行については要望がある。高齢になっても、友人や知人等容易に訪問できることは老化を防ぎ、精神衛生上も良い。新たな交通システムを構築する考えはあるか？



山岸フミ子議員

**町長** 土・日の運行は運行委員会

に申し上げ、試験的に運行できるよう町支援を考える。より良い交通システムへの改善を図っていく。

**山岸議員** 土・日の交通確保がされ

れば、高齢者・障害者の方が誰にも気兼ねなく出歩くことができるようになる。地域で自然体のまま暮らせる環境にあることが大切である。

**保健福祉課長** 町民の方が健康でい

きいきと生活して、いろいろな活動を支えるものとしての基盤として交通の確保は重要である。

**山岸議員** 出歩くことが容易にでき

るようにするには、料金のことが挙げられる。他の自治体では200円から300円が多い。自己負担の軽

減をされる考えはあるか？

**総務企画課長** 確かに他町村と比べ

ると高いことは認識している。町としては提言しているが、

運行委員会で結論が出

ていない。

**町長** 業者や機関と

共に引き続き協議をする。

**山岸議員** 高齢者、障

害のある方、一人暮らしの方など買い物に不自由だとの声を聞く。

協働のまちづくりの一

環として、買い物支援システムづくりを構築する考えはあるか？



さらなる利便性が求められる雪んこタクシー

**町長** そのことは認識している。地

域の生活課題として、関連する機関・団体等で連携できる協議検討が必要。

将来的にも具体的な取り組み、支援を図っていかねばならない。

**山岸議員** 買い物だけではなく、孤

独感・不安感を解消でき、また見守り隊的役割にもなる。安心して暮らせるまちづくりの一環として構築し、一日も早い実現を望む。

**町長** 高齢化も加速的に進んでい

る。行政・地域の人たちと話し合い、課題として捉え、アイデアを絞って検討する。

# 中野大徳議員

## 豪雨災害被災農地への支援策は

——まさくに喫緊の課題、真摯に取り組み町長

**中野議員** 新潟・福島豪雨災害被災

農地への支援について。平成23年7月の新潟・福島豪雨を受け、被災した農地は何年も耕作できずに継続意欲を失いかけている。このような状況下、流失や土砂災害等で被災した農地に対し、何らかの支援策を講じる考えはあるか？

**町長** 新潟・福島豪雨災害の影響により、平成24年度に作付けができ



中野大徳議員

なかった水田面積は約45町歩、平成25年度も作付けができない見通しの水田面積は約13町歩となっており、農家の皆様には大変なご苦労をおかけしているものと痛切に感じ、鋭意災害復旧事業の進捗を図っている。

農地災害復旧に関しては、これまで災害復旧事業の農家負担金免除の実施、農家負担を求めない災害復旧事業補助金の集落交付を実施し、全面的に支援してきた。また、被災農機具の修繕・再取得経営持続補助金の交付、災害資金の利子補給補助金の交付、勤労意欲を失わないための就労斡旋の取組みなど、多角的に営農再開の支援策を講じてきており、今後は只見川流域豪雨災害復興交付金を活用した地域振興策の一環として、将来的な農業振興と復興に寄与する農業振興策の具現化に向けて検

討を行い、協議を進めていく。

**中野議員** 農業者は、田んぼ・畑が勤め場であり、食糧の生産工場である。勤め場を失った空白の3年間に對して、町独自の支援策の考えはあるか？

**産業振興課長** 交付金を活用して復



急がれる農地の復旧工事  
写真は蒲生地区の農地災害復旧工事

旧というよりは、これからの農業振興に繋がるような、復興に直結するような、農業振興施策を検討していきたい。

**中野議員** 千年に一度と言われる大震災。風評被害。そして、百年に一度と言われる大水害。大変な時に今直面している。早急に策を練られて提案していただきたい。

**町長** 農業そのものが、地域経済集落の機能、地域の文化としての機能を持っていると考える、まさくに喫緊の課題であり真摯に取り組んでいきたい。



# 酒井右一 議員

## 豪雪対策本部の設置時期は適切だったか

——今後、生活者の実態を考慮し、

### 適切な判断で対処したい 町長

る。そこで、例えばアメリカ軍が主催する環太平洋合同演習（リムパック）があるが、「7・29新潟・福島豪雨災害」クラスの大災害を想定した合同訓練を関係機関・団体・企業等と定期的に行えないか？

**副町長** 平成25年度に水防訓練を予定している。今の意見を踏まえ、事業者等も含め、実施内容をさらに検討する。今後に繋がるように鋭意検討し取り組んでいきたい。

**町長** 豪雪対策本部の設置については、住民の高齢化が進んでいるので、生活者の実態を考慮し一層適切な判断をもって対処したい。

**町民生活課長** 言われるとおり不幸な事故が発生したことは事実である。この段において、要綱の趣旨や生活に対しての不安を解消する目的から対策本部設置について内部検討し、豪雪対策、雪害に対する検討を行い、今後の降雪量見込みやさらなる事故発生の防止を目的に、この時期に設置していることをご理解いただきたい。

**酒井議員** 災害に向き合うには災害に対する備え、防災教育と訓練に尽きる。

7・29新潟・福島豪雨災害の反省点は情報の孤立と錯綜である。情報孤立がもたらす災害は悲惨なものであ

が人が出ている。なぜ、すぐに本部設置しなかったのか？

**町民生活課長** 町でも1月26日時点で、対策本部の設置について内部検討した。結果として、今後の気象予報が回復に向かう見込みであることと併せて、道路交通においても混乱をきたさないよう対策を図ったことから、この時点での設置は見送っている。しかしながら、町内で不幸な事故が起き、さらなる事故発生の防止に努めるため2月1日に対策本部を設置した。

**酒井議員** 只見町豪雪対策要綱が改定された平成22年には、1月21日に243㍉の積雪で本部が設置されている。今年の豪雪対策には納得できない。この点について伺いたい。

**酒井議員** 町豪雪対策要綱では、積雪が260㍉に達したときに豪雪対策本部設置が規定されている。1月25日の夜半から寒波が襲来し、26日は大変な風雪状況となり大雪警報が出ていた。すでに只見町豪雪対策本部が設置される条件が整っていたが、町豪雪対策本部は2月1日に設置された。この間、雪による死者やけ



酒井右一議員



除雪に追われたこの冬の豪雪（只見駅前通り）

**問** 婦人会長や民生委員をされている経験から、只見町の課題は何であると思いますか？

**答** 只見町は、昔からの3地区意識が強く、只見町としての一体感が感じられない。福祉施策は充実したものの雇用の場が少ない。これは、人材不足だけの問題ではなく、働きやすい職場を意識した環境整備が必要であると思う。

**問** 今後のまちづくりについてご意見を！

**答** 地元にある素材を活用した、新たな産業おこしができないか？

つる細工など伝統として残る産業については、質を高めてブランド化してほしい。

また、販売の際には、事前に販売先を調査してから取り組んでほしい。

※このほか、除雪の問題や只見高校振興対策などについて話されました。



よこやまけいこ  
横山圭子さん

朝日婦人会長を歴任され、併せて榎戸地区の民生委員をされており、地域活動の要として活躍されています。



### 議員の突撃 インタビュー

町政や議会等に対してどのように考えているのかを町民の方々に議会広報特別委員会の委員が直接お伺いして、さまざまな想いを聴かせていただきました。

町民のみなさんの意見を

# 聴かせてくんつえ!



めぐろとしゆき  
目黒俊行さん

朝日地区センター運営委員会会長をされており、地域活性化に力を注いでいます。

**問** 議会報告会に来ていただいた感想は？

**答** 立派な報告書で感銘している。いろいろな分野において活躍している様子がうかがえた。議員の方々は町民の代表である自覚を持って、それぞれの立場で町当局と政策面での建設的な議論をしていただき、町一丸となったまちづくりに取り組んでほしい。

**問** これからの只見町に必要な取り組みは何であると思いますか？

**答** 少子高齢化や空家対策に早急に取り組んでいただきたい。スピード感を重視した取り組みを期待したい。

※このほか、新潟県三条市との交流事業や柏崎原発の廃炉に向けた要望など話されました。

# 町民からの陳情・請願

## あの陳情の行方と結果



蒲生区の方々より輸久水路の説明を聞く議員

### 採択 水路改良に 関する陳情

蒲生区より陳情のありました「水路改良のお願い」については、経済文教常任委員会に付託し、委員会内の審議を経て採択となりました。

#### 採択の理由

本件は、地域にとつては唯一の農業用水であり生活用水でもある輸久水路の維持管理として、急峻な個所について高齢化も伴い作業に支障をきたしており、安全な作業のために有蓋化を望むものです。

当委員会としては、今後ますます進むであろう少子高齢化の時代のなかでは、集落内の維持管理について、年々厳しさを増してくるものと考えます。また、公共性、公益性を考え必要不可欠な箇所については、補助等の有効的な活用を図りながら改善策を推進する必要があるものと考えます。よって、全線の有蓋化は難しいが、必要最小限の範囲で、維持管理作業の安心

安全の点からの有蓋化は必要があるものとして採択としました。

#### 次会期も継続して審議

3月会議終了時点で、結論の出ていない陳情が5件あります。

坂田区からの「官公造林の伐採反対に関する陳情」のほか、一昨年の豪雨災害や豪雪に起因する復旧陳情4件です。今後、各担当委員会で調査・審議していくことになります。

#### 継続審議の陳情

- ①坂田区〈官公造林の伐採反対に関する陳情〉
  - ②石伏区〈萬代橋の架け替え〉
  - ③黒谷区〈黒谷入地区町道整備に関する陳情〉
  - ④黒谷区〈町道「下福井根木屋線」龍泉寺〜沢口間の拡幅改良に関する陳情〉
  - ⑤布沢区〈「田沢向農道橋」復旧（架橋）のお願い〉
- ※①については、総務厚生常任委員会で継続調査を実施、②〜⑤については経済文教常任委員会に付託されています（なお、4月2日に経済文教常任委員会で現地視察を行いました）。

## ●広域連携による取り組みについて

#### 南会津地方行政研究会

地方分権の推進、行政に対する住民ニーズの高度化・広域化などの動向を踏まえ、南会津管内の各町村が抱える課題を共有し、広域行政の推進方策を研究するため設置された研究会です。

只見町議会から、3名の議員を選出しております。

#### 選出議員

目黒仁也議員、小沼信孝議員、石橋明日香議員

#### 南会津地方新消防体制 実施計画議員検討委員会

南会津地方広域市町村圏組合新消防体制基本構想の実施計画策定に当たり、民意を反映させるために、組織された委員会です。今後、消防庁舎建設や消防救急無線のデジタル化および通信指令台の整備などに関して検討を行います。

只見町議会から、2名の議員を選出しております。

#### 選出議員

齋藤邦夫議員、藤田力議員



## 議会の主な動き 平成25年2月～4月

- 2月5日 南会津地方町村議長会総会
  - 2月14日 国への緊急要望（自民党本部・総務省・国交省・復興庁）
  - 2月15日 経済文教常任委員会
  - 2月18日 総務厚生常任委員会
  - 2月19日 後期高齢者医療広域連合議会定例会
  - 2月21日 議会2月会議
  - 2月26日 議会運営委員会研修（～27日）
  - 3月1日 県立只見高等学校卒業式
  - 3月5日 議会運営委員会  
災害対策特別委員会
  - 3月12日 議会3月会議（～22日）  
災害対策特別委員会
  - 3月13日 只見中学校卒業式
  - 3月15日 予算特別委員会（～21日）
  - 3月22日 町内小学校卒業式
  - 3月27日 議会3月第2回会議
  - 4月5日 地域活動支援センター開所式
  - 4月8日 町内小中学校入学式
  - 4月17日 全員協議会
  - 4月18日 議会報告会（～20日）
  - 4月23日 議会4月会議
  - 4月29日 南会津郡三町一ヶ村消防団春季連合  
検閲式
- 委員会31回（※常任委員会：11回、特別委員会10回、議会運営委員会10回）  
全員協議会5回、本会議8回

## 表紙の 写真を大募集

町民と議会との接点でもある議会だよりの作成に町民の皆さまも参加してみませんか。町民のいきいきとした写真を常に募集しています。

- お問い合わせは  
議会事務局 82-5300



朝日地区センターで開かれた議会報告会

## 今回の議会だよりは なじよだったかない？

### あなたの意見が議会を変える

議会活動や議会だよりに関してご意見のある方は、電話・手紙・メール（gikai@town.tadami.lg.jp）でお寄せください。直接意見を伝えたいという方は、議員と事務局が伺いますので、ご連絡ください。

※「なじよだったかない？」……只見町の方言で「どうでしたか？」という意味。

## 議会議事録が ホームページで見られます

パソコンやスマートフォンから只見町議会のホームページに入っていると議会本会議の議事録を見ることができます。議事録のデータ作成のため議会終了後よりお時間をいただいておりますが、随時更新しておりますのでご覧ください。

<http://www.tadami.gr.jp/gikai/gikaitop.html>

## ● 議会報告会を開催

4月18日～20日にかけて、町内3地区センターにおいて議会報告会を開催しました。議会活動の報告を担当議員から説明した後、参加された町民の方から、様々な質問が出されました。今後も、町民の皆さんの意見を聴きながら開かれた議会運営に努めてまいります。

## 編集後記

100年に1度という新潟・福島豪雨災害から1年10か月が過ぎました。被災住民の方々への生活支援、2度と起こしてはならない防災・安全対策等課題は山積です。新年度予算の審議を終え、4月18日～20日の日程で第2回目の議会報告会が3地区で開催されました。町民から叱咤激励をいただきました。議会も前向きな政策提案に努め、明るい只見の未来に前進しなければなりません。

新年度より、編集委員とより一層の意思疎通を図れるよう町内業者に議会だよりの作成をお願いしました。今後も町民の皆様から愛される議会だよりの発行に努めてまいります。どうぞ、お気軽にご意見をお寄せ下さい。

### 議会広報特別委員会

委員長 山岸フミ子  
副委員長 石橋明日香  
委員 大塚純一郎  
委員 中野大徳  
委員 目黒仁也  
委員 小沼信孝

（編集委員 目黒仁也）